

院内フォーミュラリ（スタチン）

院内フォーミュラリ 推奨区分	推奨	オプション	オプション	オプション
スタチン分類	ストロングスタチン	ストロングスタチン	ストロングスタチン	スタンダードスタチン
商品名	ロスバスタチンOD錠「サワイ」	アトルバスタチン錠「Me」	ピタバスタチンカルシウムOD錠「KOG」	プラバスタチンNa錠「ケミファ」
規格	2.5mg, 5mg	5mg, 10mg	2mg	10mg
適応	高コレステロール血症 家族性高コレステロール血症	高コレステロール血症 家族性高コレステロール血症	高コレステロール血症 家族性高コレステロール血症	高脂血症 家族性高コレステロール血症
用法・用量	通常、成人には1日1回2.5mgより投与を開始するが、早期にLDL-コレステロール値を低下させる必要がある場合には5mgより投与を開始してもよい。 なお、年齢・症状により適宜増減し、投与開始後あるいは増量後、4週以降にLDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には、漸次10mgまで増量できる。10mgを投与してもLDL-コレステロール値の低下が十分でない、家族性高コレステロール血症患者などの重症患者に限り、さらに増量できるが、1日最大20mgまでとする。	<高コレステロール血症> 通常、成人にはアトルバスタチンとして10mgを1日1回経口投与する。 なお、年齢・症状により適宜増減するが、重症の場合は1日20mgまで増量できる。 <家族性高コレステロール血症> 通常、成人にはアトルバスタチンとして10mgを1日1回経口投与する。 なお、年齢・症状により適宜増減するが、重症の場合は1日40mgまで増量できる。	<高コレステロール血症> 通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1～2mgを1日1回経口投与する。 なお、年齢・症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。 <家族性高コレステロール血症> 成人：通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1～2mgを1日1回経口投与する。 なお、年齢・症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。 小児：通常、10歳以上の小児にはピタバスタチンカルシウムとして1mgを1日1回経口投与する。 なお、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日2mgまでとする。	通常、成人にはプラバスタチンナトリウムとして、1日10mgを1回または2回に分け経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減するが、重症の場合は1日20mgまで増量できる。
禁忌	・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ・肝機能が低下していると考えられる以下のような患者（急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸） ・妊婦又は妊娠している可能性のある女性及び授乳婦 ・シクロスポリンを投与中の患者	・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ・肝代謝能が低下していると考えられる以下のような患者（急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸） ・妊婦又は妊娠している可能性のある女性及び授乳婦 ・グレカプレビル・ピレンタスピル（マヴレット）を投与中の患者	・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ・重篤な肝障害又は胆道閉塞のある患者 ・シクロスポリンを投与中の患者 ・妊婦又は妊娠している可能性のある女性及び授乳婦	・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ・妊婦又は妊娠している可能性のある女性及び授乳婦
腎機能	クレアチニンクリアランスが30mL/min/1.73m ² 未満の患者に投与する場合には、2.5mgより投与を開始し、1日最大投与量は5mgとする	用量調節の記載なし	用量調節の記載なし	用量調節の記載なし
妊婦又は妊娠している可能性のある女性※	添：禁忌	添：禁忌	添：禁忌	添：禁忌
授乳婦※	添：禁忌 Hale：L3-限定的データ-おそらく適合	添：禁忌 Hale：L3-データなし-おそらく適合	添：禁忌	添：禁忌 Hale：L3-限定的データ-おそらく適合
特徴	・薬物間相互作用が少ない ・承認用量の幅が最も大きい（1回2.5mg～最大20mg）	・CYP3A4に代謝されるため、阻害薬とは併用注意 ・グレープフルーツジュースは避ける	・10歳以上の小児における家族性高コレステロール血症の適応あり	・LDL-C低下作用はストロングスタチンに劣る ・薬物相互作用が少ない ・重篤な肝機能障害又はその既往歴のある患者には慎重投与（他剤は禁忌）
会社名	沢井	Meファルマ	興和AG	日本ケミファ
薬価	2.5mg：10.40円 5mg：10.40円	5mg：10.40円 10mg：13.90円	15.90円	14.10円
薬剤費概算 1ヶ月（30日）あたり	2.5mg/日、5mg/日のいずれの場合も 312円（10割） 94円（3割） 31円（1割）	10mg/日の場合 417円（10割） 125円（3割） 42円（1割）	2mg/日の場合 477円（10割） 143円（3割） 48円（1割）	10mg/日の場合 423円（10割） 127円（3割） 42円（1割）
採用区分	院内外共通 院外は一般名処方	院内外共通 院外は一般名処方	院内外共通 院外は一般名処方	院内外共通 院外は一般名処方
先発・後発区分	後発品	後発品	後発品	後発品

2025/12/18

薬事委員会作成

※添：添付文書、妊：妊娠と授乳、Hale：ヘイル薬と母乳より引用。Hale分類についての詳細は電子カルテトップ→DIニュース→お役立ち情報「妊娠・授乳婦と薬」を参照